

さいたま赤十字病院に入院された患者様へ

当院では、病院の外で心臓が停止し当院に搬送された患者様を対象として、そのような状態を来した患者様の特徴や、適切な治療法等を明らかにするために研究を行っております。本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を下記の研究に利用されることをご希望されない場合は、末尾に記載しました研究担当者までお知らせください。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

研究課題名：	院外心停止を来した冠動脈疾患患者の予後を検討した臨床研究
研究機関名 所属（診療科等）：	さいたま赤十字病院 循環器内科 部長 松村 穰(研究責任者) さいたま赤十字病院 循環器内科 医員 松田 準治(研究責任者) (研究に関する問い合わせは先：黒坂英司)
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 循環器内科 部長 松村 穰 さいたま赤十字病院 循環器内科 医員 松田 準治 さいたま赤十字病院 循環器内科 医員 黒坂 英司
研究期間：	年 月 日(倫理委員会承認後) ～ 2027年 3月 31日
研究の目的と意義：	病院の外で心臓が停止(病院外心停止)する原因として冠動脈の狭窄や閉塞を来す冠動脈疾患の頻度が高いと報告されています。・冠動脈疾患を診断するには心臓の冠動脈に直接カテーテルを挿入し冠動脈造影を行う事が広く行われています。また、心筋梗塞において ST 上昇の有無が、冠動脈造影の所見や長期予後と関連があると考えられています。しかし、現状では病院外心停止例における ST 上昇の有無が患者様の冠動脈の病変や予後にどのように影響しているか詳しい研究がありません。そこで、我々は当院で診療された病院外心停止をきたした方々の過去の診療情報を収集し、冠動脈を冠動脈造影検査で詳しく調べた所見や、患者背景、検査データ(血液検査など)、入院中や退院後の治療などについて調査し、治療の現状や、生存・死亡に何が影響するのかについて明らかにすることを目的として本研究を実施します。
研究内容：	【研究対象者・該当期間】 2015年1月1日～2023年12月31日に当院で入院・治療を受けた、病院外心停止の患者様を対象としています。

	<p>【研究の方法】</p> <p>診療情報、患者情報(例：年齢、性別、入院中や入院後の検査・治療内容、死亡の有無)の抽出および収集を行い、解析します。研究に伴う追加の検査等はありません。</p> <p>対象患者様より取得した上記診療情報を用いて、治療の現状や、生存・死亡にどのような要因が影響するのかについて明らかにします。</p> <p>【本研究の実施の承認について】</p> <p>今回の研究の実施にあたっては、当院の倫理審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。</p> <p>【本研究の利益相反】</p> <p>研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> <p>※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。</p>
個人情報の取り扱い	本研究では、当院に設置したデータベースに、匿名化(注1)された情報を登録します。試料・情報・記録等は当院で保管を行います(保管場所:循環器内科医局、責任者:黒坂英司)。
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	<p>【研究担当者】</p> <p>研究連絡先：循環器内科 医員 黒坂英司</p> <p>〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心1-5</p> <p>電話：048-852-1111 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)</p> <p>E-mail: eiji.bkrsk.jn1030701@gmail.com</p>

(注1) 匿名化とは、誰のデータであるかわからないように処理した状態を指します。